

東日本大震災翌年の松川浦における ホシガレイ稚魚の採捕 (短報)

和田敏裕・岩崎高資・神山享一

Collection Record of a Spotted Halibut Juvenile from Matsukawa-ura
in the Following Year of the Tohoku Earthquake and Tsunami Disaster (Short paper)

Toshihiro WADA, Takashi IWASAKI and Kyoichi KAMIYAMA

2012 年 5 月 30 日に、松川浦内 4 定点 (図 1) において東日本大震災以後初めてのビームトロール調査 (幅 2m、各定点 5 分間曳網)¹⁾を行ったところ、ホシガレイ天然稚魚 1 尾が採捕された。採捕地点は st. 3、全長 56.8mm であった。

これまで、東北海域におけるホシガレイ稚魚の採捕報告として松川浦^{1, 2)}および万石浦³⁾の例がある。ただし、全長 100mm 未満の稚魚の採捕報告があるのは松川浦のみであり、最小サイズは 2008 年 6 月 9 日に採捕された全長 60.0 mm であった¹⁾。今回採捕された個体は、松川浦で採捕されたホシガレイ稚魚の最小記録を更新した。また、採捕場所 (st. 3) は、1985~1989 年に行ったビームトロール定量調査においてホシガレイ稚魚の密度が最も高い定点と一致した¹⁾。なお、今回採捕された稚魚の全長は、産卵時期 (1 月盛期) がほぼ等しい九州西部の成育場において 2003 年 5 月に採捕された稚魚の全長 (平均±標準偏差: 54.2±9.8mm、n = 4) の範囲内にあり⁴⁾、成長の低下は認められなかった。

松川浦は、2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震及びそれに伴う巨大津波により、砂州の損壊や底質の変化等⁵⁾大きな被害を受けたが、今回の採捕事例は、東日本大震災翌年の松川浦が震災前同様にホシガレイ稚魚の成育場として機能していることを示唆した。

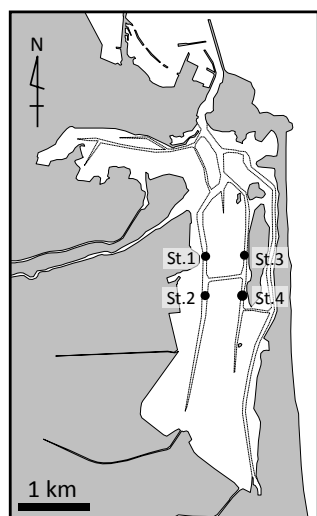


図 1 調査地点



図 2 採捕された稚魚 (全長 56.8mm)

文 献

- 1) Wada T., Kamiyama K., Shimamura S., Matsumoto I., Mizuno T., Nemoto Y.: Habitat utilization, feeding, and growth of wild spotted halibut *Verasper variegatus* in a shallow brackish lagoon: Matsukawa-ura, northeastern Japan. Fish. Sci. 77, 785 - 793 (2011).
- 2) 根本芳春・藤田恒雄・渡邊昌人: ホシガレイに関する研究-I、福島水試研報、8、5 - 14 (1999).
- 3) 座間彰: 万石浦に出現する魚類の生態学的研究、東京水産大学博士学位論文 (1998).
- 4) Wada T., Mitsunaga N., Suzuki H., Yamashita Y., Tanaka M.: Growth and habitat of spotted halibut *Verasper variegatus* in the shallow coastal nursery area, Shimabara Peninsula in Ariake Bay, Japan. Fish. Sci. 72, 603 - 611 (2006).
- 5) 平成 23 年度福島県水産試験場、水産種苗研究所事業概要報告書 (2012).